1．作付前の確認事項①

最初の確認

チェック項目	チェック
セイヨウオオマルハナバチを飼養する場合に、環境省の許可取得及び適切な飼養管理を実施していますか。	
特許、実用新案、品種登録だけでなく、意匠（特殊な形状の農産物や包装容器が該当します。）、商標、ブランド名、特殊な農法などの知的財産に該当する事項が何かを認識していますか。	
保証票などで確認できる登録品種の種苗を使用していますか。	
遺伝子組み換え作物の種苗を用いる場合は、取り扱いに注意していますか。	

土作り･適正施肥

チェック項目	チェック
土壌診断を行い、肥料の適正な施用を行っていますか。	
たい肥等の有機物の施用により、土づくりに努めていますか。	
土壌の侵食が予測される場合、侵食を軽減する対策を実施していますか。	

危険･事故防止

チェック項目	チェック
ほ場やその周辺の環境を把握していますか。	
ほ場及び隣接地の従前及び現在の用途について知っていますか。	
危険性の高い機械作業や作業環境、危険箇所を把握していますか。	
危険な場所や作業の注意を喚起していますか。	
事故発生時の対応方法や緊急連絡先を明記したものを掲示していますか。	
救急箱の設置や病院の連絡先の一覧を作成するなど緊急時に素早く対応できるようにしていますか。	
危険な物や場所がある場合は、表示していますか。	
危険箇所の補強や、緩和の措置を行っていますか。	
機械等の取扱説明書を理解し、適正な使用に努めていますか。	
農薬保管庫の鍵の管理責任者が決まっていますか。	
資格のある産業廃棄物処理業者に廃棄物（廃プラスチック、空容器、空袋、残った農薬、農業機械等）の処理を委託していますか。	

1．作付前の確認事項②

食中毒対策

チェック項目	チェック
工場などが近くにある場合は、工場の排水は流入していませんか。	
家畜糞尿を原料とする未処理の堆肥が流出し、生鮮野菜と接触する可能性はありませんか。	
堆肥は、ほ場から離れた場所に保管していますか。	
たい肥置場には、屋根や排汁溝が設置されていますか。	
使用する水の水源（水道、井戸水、開放水路、ため池等）の安全性を確認していますか。	
人糞尿を使用していませんか。	
たい肥やその原料の処理保管場所から堆肥や廃液が流出し、収穫物と接触しないように対策をとっていますか。	
堆肥を施用する場合は、外来雑草種子等の殺滅や病原性微生物による汚染を防止するため、数日間、高温で発酵させたたい肥を使用していますか。	
手洗い設備やトイレ設備をほ場及び施設から通える場所にありますか。	

異物混入クレーム対策

チェック項目	チェック
ほ場に吸殻、空き缶、農業資材のビニール類などが放置されていませんか。	

鳥獣害対策

チェック項目	チェック
農地をエサ場にしない取組を実施していますか。	

記録

チェック項目	チェック
ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存していますか。	
生産物の出荷に関する記録を保存するようにしていますか。	

2. 毎日確認する項目

品質確保

チェック項目	チェック
品質や規格について、基準に基づいた出荷を行っていますか。	

異物混入クレーム対策

チェック項目	チェック
細かな農業資材（クリップ、針金、結束帯など）が栽培中の農作物に入り込んだり、収穫物に紛れ込むことがないように、注意していますか。	
収穫用の容器を、収穫された生鮮野菜以外のものを運ぶために使用していませんか。	
包装資材は、地面に直接置いたり、開放したまま長時間放置したりしていませんか。	
収穫物の上に、汚れた資材、備品などがないか確認していますか。	
たばこ・ガム・ヘアピン・カッター・ドライバーなど、うっかり混入しそうなものを、収穫後の作業を行う場所に置かないようにしていますか。	
収穫物のコンテナの上にシートを掛ける場合は、シートが汚れていないか確認していますか。	

危険防止

チェック項目	チェック
作業時は帽子・手袋を着用していますか。	

食中毒対策

チェック項目	チェック
必要な時はその都度手洗いを励行していますか。	
手洗いのための石鹸や消毒液を設置していますか。	

病害虫・農薬事故対策

チェック項目	チェック
収穫直前の農作物にたい肥やその原料が長靴などを介して間接的に触れないように心がけていますか。	
履物や手袋等の清潔さの保持に努めていますか。	
訪問者に衛生上のルールを守らせるなど部外者への適切な対応の実施していますか。	
農産物残渣等の廃棄物を施設やその周辺に放置しないようにしていますか。	

記録

チェック項目	チェック
肥料の使用に関する以下の内容を記録。保存していますか。 ①施用日、②施用場所、③施用した農作物、④施用した肥料の名称、⑤施用面積、⑥施用した量	
種子・苗、堆肥、土壌改良資材、肥料、農薬等の購入伝票等を保存していますか。	
資材の殺菌消毒、保守管理等の記録を保存していますか。	

3．毎月1日に確認する項目①

品質確保

チェック項目	チェック
必要に応じて、貯蔵や輸送時の温度管理を行っていますか。	

異物混入クレーム対策

チェック項目	チェック
栽培施設内にペットは持ち込まないようにしていますか。	
定期的に清掃をしていますか。	
異物の発見や色の識別、衛生的な作業が行える明るさが保たれていますか。	
施設内に有害生物が侵入・生息しないよう、点検と必要な対策の実施していますか。	
清掃用具は破損しにくい、混入しても発見しやすい器具などを使用していますか。	
包装容器が、たい肥やその原料、廃棄物等に汚染されないよう保管し取り扱っていますか。	
喫煙、飲食などが原因となる生産物への異物混入が起こらぬよう、喫煙・飲食は決められた場所で行うようにしていますか。	

危険防止

チェック項目	チェック
作業者の衛生管理・健康管理を実施していますか。	
定期的な休憩を取るように心がけていますか。	
燃料は、火気がなく部外者がみだりに立ち入らない場所に保管していますか。	

食中毒対策

チェック項目	チェック
手洗い設備やトイレ設備が汚染源とならないように努めていますか。	

燃料費対策

チェック項目	チェック
施設・機械等の使用において、エネルギー消費の節減に努めていますか。	

3．毎月1日に確認する項目②

農薬事故対策

チェック項目	チェック
農薬の空き容器などは場所を決め、土壌や水源を汚染しないように保管していますか。	
農薬の空き容器は、屋根のある、風雨にさらされない場所に保管し、周辺の汚染や地下、河川等への流出を防止するように管理していますか。	
農薬は適切な場所に保管されていますか。	
農薬保管庫は危険性を警告する表示があり、鍵がかかっていますか。	
農薬どうしがこぼれても混ざらないようにプラスチックトレー（染込まない素材容器）などに入れて保管していますか。	
農薬は剤型別、種類別、適用作物別に明確に区分して保管していますか。	

病害虫対策

チェック項目	チェック
農機具や収穫・調製・運搬に使用する器具類等を定期的に洗浄や手入れをしていますか。	
たい肥やその原料、生ごみ等に使用されるなど、汚染の可能性がある農機具や器具類等は、十分に洗浄し、必要に応じて消毒していますか。	
栽培施設内に害虫などの有害生物が侵入・生息しないよう努めていますか。	
病害虫・雑草が発生しにくい栽培環境づくりに努めていますか。	
発生予察情報の利用などにより病害虫の発生状況を把握した上で防除を実施していますか。	
収穫しない野菜や間引いた株、ヒコバエなどは農地に残さず、簡単に取られないようにネットで囲んだり、埋設など適切に処理していますか。	

廃棄物の適正処理

チェック項目	チェック
産業廃棄物管理票の控えと処理業者の資格証明書の写しを入手・保管していますか。	
産業廃棄物、資源ごみ等は、区分して保管・処分していますか。	
廃棄物の保管場所では、他の場所への飛散や、農作物や作業服等の汚染などが生じないように管理していますか。	
汚染リスクの高い廃油は、別容器に保管し、適正に処分していますか。	
使用済み資材等の野焼きはしないようにしていますか。	

4. 作業時に確認する項目①

機械作業時の確認事項

チェック項目	チェック
機械作業、高所作業又は農薬散布作業等、適切に実施しなければ危険を伴う作業の従事者などに対する制限を設けていますか。	
防護服や防護装備は農薬と離して保管していますか。	
危険性のある作業において、ヘルメットや帽子、保護メガネ、防塵マスク等の防護装備を着用していますか。	
農薬の散布作業に従事する際は、カッパ、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴーグル、防護マスクを必ず着用していますか。	
機械、装置、器具等の安全装備等を確認していますか。	
使用前点検、使用後の整備及び適切な管理を実施していますか。	
危険を伴う機械を利用する際は、周囲の確認や、機器の安全利用に努めていますか。	

4. 作業時に確認する項目②

農薬散布時の確認事項

チェック項目	チェック
無登録農薬及び無登録農薬の疑いのある資材を使用していませんか。	
農薬使用前における防除器具等の十分な点検及び、使用後における十分な洗浄を実施していますか。	
農薬の使用の都度、容器又は包装の表示内容を確認し、表示内容を守って農薬を使用していますか。	
農薬散布時における周辺作物への影響を回避する取組を実施していますか。 （風向き、障壁作物の設置、飛散しにくい剤形の選択、飛散防止ノズルの利用等）	
作業場で家庭用殺虫剤を使用するときは、直接農産物にかかることがないように注意していますか。	
農薬の使用残が発生しないように必要な量だけを秤量して散布液を調製していますか。	
農薬の使用量、使用回数の削減を心がけていますか。	
近隣に影響が少ない天候の日や時間帯での散布をこころがけていますか。	
農薬を散布する場合、近隣住民等への事前の周知を行っていますか。	
被覆を要する農薬（土壌くん蒸剤等）を使用する場合は、揮散を防止する対策を実施していますか。	
農薬散布機の洗浄液を河川に流したり、容器の野焼きや農業機械をほ場に投棄するなどをしないようにしていますか。	
農薬の散布作業時における防護服は着用後に洗浄していますか。	
農薬は購入時に入っていた容器のままで保管していますか。（牛乳やジュース等の容器への移しかえの禁止）	
開封済みの農薬は密封し、他の農薬と別に保管していますか。	
農薬の使用に関する以下の内容を記録、保存していますか。 ①使用日、②使用場所、③使用した農作物、④使用した農薬の種類又は名称、 ⑤単位面積当たりの使用量又は希釈倍率	
化学農薬以外の防除手段を採り入れていますか。	

5. 栽培終了後に確認する項目

栽培終了後の確認事項

チェック項目	チェック
病気や害虫の発生を抑えるためにも、栽培終了後には、ほ場の後片付けを適切に実施していますか。	
無病の作物残さ等の有機物は、ほ場に還元したり、たい肥の原料や飼料・敷料等の用途へ仕向けるなど、有効活用を実施していますか。	
生産物の出荷に関する記録を保存していますか。	
野菜の出荷に関する記録について必要な期間、保存していますか。	
GAPの自己点検を、年1回以上行っていますか。	
生産部会や地域での生産者同士の点検を行っていますか。	